

経済的に緊密な欧口関係

ベルギーのブリュッセルに会議で出張した。当地は欧州の政治の中心であり、欧州委員会の本部がある。いまごろではウクライナ問題一色であり、私が到着した日の夕方は欧州各国の外務大臣が集まって、ウクライナ問題について協議したようだ。

日本でも詳しく報道されているように、ウクライナ情勢は急速に変化している。親ロシアのスタンスをとってきたヤヌコビッチ政権が、欧州との連携を高めようとする民衆の蜂起によって崩壊した。

伊藤 元重

機構開発研究所 教授
東大 大東 理事

難しさはらむウクライナ問題

黒海に面した軍事基地があり、かつてはロシアの領土であったクリミア半島をロシア軍が制圧し、そしてロシアへの併合を決めてしまった。第2次世界大戦後の秩序を壊すような乱暴な行為であり、欧州や米国はロシアに対して制裁を行おうとしている。ロシアの方は緊密であり、これが今後の政治

な依存度のようだ。ドイツなどもロシアから多くのガスを輸入している。経済制裁といっても、ロシアからのガスが止まるような事態になれば、欧州諸国も困ることになりかねない。
日本も他人ことにあらず
一方のロシアも、輸出の中に占める石油やガスの割合が大きくなり、欧州にガスを売れないというような事態になれば、ロシア経済は壊滅的な打撃を受けることになりかねない。欧州もロシアもそれぞれが拳を振り上げて相手を非難するような状況であるが、その拳を実際に振り下ろすことになってガスの取引が一時的にでも止まるようなことになれば、ロシアも欧州もともに大きな打撃を受けることになりかねない。
両者が経済的に深くつながっていることが、厳しい制裁合戦を避ける結果になるといふ見方もある。それが今回の問題の解決にとってよいことかどうかは分からないが、経済のグローバル化の中の国際紛争の難しさを示している。

らも西側の制裁に対する再制裁の動きが予想される。

日本にとっても、ウクライナ問題は他人ごとではない。現状の秩序を壊しても領土を奪うというのが今回のロシアの行為である。竹島や尖閣諸島などの難しい問題を抱えた日本にとっても、何か乱暴な動きがあって現状の秩序を壊すような展開になることを警戒しなくてはならない。

我々の会議でもウクライナ問題が急ぎよ大きく取り上げられた。新しいウクライナ政府の外務大臣が参加してロシアの対応について厳しい意見を述べていた。参加者の中にはロシアの大使も

諸国やイタリアなどは相当に大きな依存度のようだ。ドイツなどもロシアから多くのガスを輸入している。経済制裁といっても、ロシアからのガスが止まるような事態になれば、欧州諸国も困ることになりかねない。
日本も他人ことにあらず
一方のロシアも、輸出の中に占める石油やガスの割合が大きくなり、欧州にガスを売れないというような事態になれば、ロシア経済は壊滅的な打撃を受けることになりかねない。欧州もロシアもそれぞれが拳を振り上げて相手を非難するような状況であるが、その拳を実際に振り下ろすことになってガスの取引が一時的にでも止まるようなことになれば、ロシアも欧州もともに大きな打撃を受けることになりかねない。
両者が経済的に深くつながっていることが、厳しい制裁合戦を避ける結果になるといふ見方もある。それが今回の問題の解決にとってよいことかどうかは分からないが、経済のグローバル化の中の国際紛争の難しさを示している。

*この記事は静岡新聞社編集局調査部の許諾を得て転載しています。